第8回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

消費・安全局長賞

一般社団法人日本食育HEDカレッジ

[東京都：活動期間３年]

日本初！SDGs「食育と防災」をテーマにしたレスキューキッチンカー

2016年に発生した熊本地震のボランティア活動がきっかけに

当活動は、熊本地震のボランティア活動にて、食の問題が後回しにされていた現状に危惧の念を抱いたことから始まりました。食育の啓蒙活動を通し、災害時の食について見つめ直す機会を提供することで、災害時でも生き抜く力を養えるよう支援しています。また、「おいしく楽しく備える」をモットーに、レスキューキッチンカーをはじめとした防災食作りのワークショップ等、普段食べ慣れない防災食をより身近に感じてもらえるようなイベントにも積極的に取り組んでいます。

レスキューキッチンカー

長蛇の列ができるほどの人気

食の大きな問題「フードロス」に直面して生産者支援の仕組みをつくりたい

食育推進活動として生産者の方々と関わる中で、食の大きな問題である「フードロス」に直面しました。そこで、賞味期限が短くなって売りに出せない防災食や生産者から規格外野菜を買い取る等、支援を目的とした仕組みづくりを行い、レスキューキッチンカープロジェクトを開始しました。

ワークショップの様子

アルファ米のおにぎり体験

食育×防災×SDGsに取り組む”日本初”のレスキューキッチンカープロジェクト

レスキューキッチンカーは、災害発生時でも、すぐにその場で温かい食事が提供できるよう特別に装備されたキッチンカーです。フードロス削減のための「食材レスキュー」と、車そのものが災害時の拠点になる「地域レスキュー」の２つの「レスキュー」の意味が掛け合わさっており、食育×防災×SDGsに取り組む日本初のプロジェクトとして注目を浴びています。街を走りながら防災意識の啓発を行うと同時に、フードロスも削減し、生産者支援にも結び付く持続可能な活動です。

防災料理教室

災害時は伝言板として使用可能

フードロス削減、防災知識の啓蒙にチーム一丸となって取組、また、応援してくれた全国の皆さんのおかげで、栄誉ある賞をいただくことができました。これからも努力を惜しまず、ひとりでも多くの方へ食育と防災を通して笑顔へ繋がる活動を続けてまいります。本当にありがとうございました。

一般社団法人日本食育HEDカレッジ
代表理事　中村　詩織